

# 代表質問

## 施政方針を質す

第1回定例会で3月12日から14日の3日間、6会派による会派代表質問を行いました。この中から質問項目を要約して掲載します。

詳しくは、市立図書館、市役所2階の情報公開室に設置の会議録（6月上旬発行予定）、または市ホームページの会議録検索（第1回定例会分は6月下旬登録予定）でご覧いただけます。

各議員が行った質問については、紙面の都合により、一部だけを掲載しました。

敬称は省略します。（通告者は、◎を記載）

市ホームページアドレス：  
<http://www.city.yotsukaido.chiba.jp/>

### 「四街道の未来を創るために」

#### 『四街道創志会』

◎成田 芳律 鈴木 陽介

中島 康一 宮崎 昭彦

岡田 哲明

【問】①市長の2期目における基本姿勢や取り組みについて伺う。②市としてのシティーセールスの捉え方と今後の計画について伺う。③クリーンセンター問題の取り組み状況と今後の対応について伺う。④クリーンセンター問題に関するタウンミーティングの感想を伺う。⑤クリーンセンタ

ーの機能強化を行う予定があるか伺う。⑥栗山みどりの保全事業に対する考え方を伺う。⑦交通不便地域、交通空白地域への対応を伺う。⑧空き家の実態把握への取り組みを伺う。⑨危険な坂、通称「赤坂」や「心臓破りの坂」への対応方針を伺う。⑩待機児童に悩む家庭向けに保育コ

ンシエルジュの導入検討を伺う。

【答】①基本構想及び前期基本計画に基づき、市政運営を図る。「子育て日本一のまちづくり」に向け、総合的な施策展開を図るとともに、シルバー世代をはじめとした不安

の軽減に取り組む。②子育て世代の人口流入と定住促進を課題とする本市にとって、重点的に対応すべきものと捉えている。専任組織を設置し、市のPRを行うとともに、方向性を示す。③タウンミーティングを開催し、市長自ら謝罪と継続操業のお願いをし、貴重なご意見、ご要望を頂いた。今後は鋭意話し合いを進めていく。④操業期限が守れないことへの怒りや、市の一貫性がないことへの疑問、失望、不信感を改めて感じた。⑤機能低下の著しい設備機器から計画的に改修し、安定的なごみ処理を図っていく。⑥市民生活に潤いをもたらす里山の保全、自然景観の保持などに市民と市が協働で取り組む事業である。⑦地域の实情にあつた新たな公共交通の導入方針を作成し、実証運行に向け、関係機関との調整等準備を進めていく。⑧空き家の実態調査を今年の11月までに実施し、その調査結果を踏まえて住生活基本計画の策定の中で検討する。⑨可能な安全対策を実施していくが、部分的な拡幅は、事故を誘発しかねないことから慎重

な検討が必要と考える。⑩本市では、入所申請手続きなどと併せての相談や問い合わせが多く、職員が時間をかけ丁寧な対応に努めている。

### 市長二期目の抱負

#### 『四街道21』

◎戸田由紀子 市川 尚史

齊藤 耀一 長谷川清和

【問】①市長選に使われたスローガン「みらいにつなぐ子育て日本一のまち」「佐渡ひとしのセカンドステージ」に込めた思いや意気込みは何か。

②「未来を担う四街道っ子の育成」「これを見守る高齢者福祉の充実・地域包括ケア体制の確立」いずれも大いに賛同するところだが、どう取り組むお考えか。

①市民の生命財産を守る、子どもを大事に育てる、お年寄りの力や知恵を活かすことは重要。これらを踏まえて、特に地域防災計画の見直しや公共施設の更新・長寿命化・ファシリテイマネジメントの現状と見直しを伺う。

【答】①四街道っ子たちの元気な声があふれる活力あるまちにしたい。地域と一体となった魅力的な子育てができるまちとして、PRすること、子育て世代の方々に住んでいただき、持続可能なまちづくりを進めていくことが、セカンドステージと考えている。②未来を担う四街道っ子の育成については、きめ細かな指導の充実を図るため、少人数学級推進事業を中学校三年生まで拡大する。また、教育相談充実のため、市独自でカウンセラーを小学校へ二名配置する。高齢者福祉の充実については、高齢者が健康でいきいきと暮らせるよう、シニアクラブやシルバー人材センターの充実を図り、社会参加と生きがい作りを支援する。地域包括ケアシステムを構築するため、地域包括支援センターの機能強化を図る。医療と介護の連携を推進するため、市医師会に施策に参画されるよう協力をお願いした。

②①防災計画の見直しについては、幅広く意見を聴くために市民会議やパブリックコメントを実施し、幅広く意見を頂いている。また、現在作